

事業名	身体障害者総合援護費			調書番号	35
細事業名	障害者スポーツ大会開催費	財務コード	080508		
担当部課室	福祉保健部	部	障害福祉課	地域生活支援	担当 (内線) 3220

I 事業の概要

実施期間	始期 S44 年度 ~ 終期 年度						
実施主体	県(委託)						
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に</td> <td>その対象をどのような状態にして</td> <td>結果、何に結びつけるのか</td> </tr> <tr> <td>身体障害者、知的障害者、精神障害者</td> <td>スポーツを通じて、仲間づくりや生きがいのある生活を送ることができる</td> <td>社会参加の促進</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか	身体障害者、知的障害者、精神障害者	スポーツを通じて、仲間づくりや生きがいのある生活を送ることができる	社会参加の促進
だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか					
身体障害者、知的障害者、精神障害者	スポーツを通じて、仲間づくりや生きがいのある生活を送ることができる	社会参加の促進					
内容	<p>県下の障害者を対象とした障害者スポーツ大会の開催を委託する事業である。</p> <p>委託先:(福)山梨県障害者福祉協会</p> <p>スポーツ大会:</p> <p>○全国障害者スポーツ大会出場選手選考を兼ねた陸上、フライングディスク、卓球、水泳、サウンドテーブルテニス、ボウリング競技の大会</p> <p>○全国大会の関東地区予選会出場チームを決める精神障害者のソフトバレーボールと卓球の大会(10月)</p> <p>○知的障害者のバスケットボールの大会(12月実施)</p>						

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	開催回数	目標	1	1	1	1	1	1
		実績(見込)	1	1	1	1	1	1
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	参加者数(役員等も含む)	目標	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
		実績(見込)	1,343	1,676	1,610	1,449	1,536	1,600
		達成率	83.9	104.7	100.6	90.6	96.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
決算(予算)単位:千円		901	848	888	888	888	685	687

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	概ね目標値に達していることから、十分な活動量があると考えられる。
成果指標	b		普段からの練習の成果を発表する場として定着しており、スポーツを通じての社会参加促進に成果を上げている。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
- ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い	<input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input checked="" type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	スポーツを通じて仲間づくりなど障害者の社会参加活動の意欲を高めており、ほぼ意図した成果をあげている。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (スポーツ庁からの通知により卓球競技へ精神障害者区分が導入されることに伴い県大会も導入する)		
その他	説明			
見直しの必要性	有	ほぼ意図した成果を挙げているが、精神障害者区分の導入することで、より成果が見込める。		

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

拡大	説明	卓球競技へ精神障害者区分の導入
----	----	-----------------

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。